

# 外国語科学習指導案（英語Ⅱ）

鹿児島県立松陽高等学校 2年1組

（生徒数 20人）

指導者 教諭 上村武志

1 題材名 「Lesson 9 Don' Call Me Clumsy」 NEW STREAM English Course II（増進堂）

2 指導に当たって

## (1) 題材観

世界の人々の多くは右利きであり、そのために我々の暮らす世界は、右利きの人にとって便利なように作られている。左利きであることは、かつては右利きであるよりも劣っていることだと見なされ、マイナスの意味を持つ言い回しも数多くあった。しかし、今日、右脳、左脳の働きとそれぞれがどのように手の働きをコントロールするかについて様々なことが明らかになり、左利きであることは右利きであることと異なる部分があるものの、決して右利きであるよりも劣っているわけではないことが示されている。

この単元は、人は互いに異なるものであり、利き手の問題も、外見・体重・得意なことなどと同様に、個性の違いであり優劣の差はないということを理解させることをねらいとしている。

また、言語材料としては、関係代名詞（非制限用法）、**It + seems + that** ~などが取り扱われており、それらを基に自己表現を行わせるのに適していると考えられる。

## (2) 生徒観

全体的に積極的に授業に取り組んでいる生徒のうち9人は英語コース生であり、外国語や異文化に対する興味関心を持っており、英語を楽しもうとする雰囲気もあるので、ペアワークでの意見交換や、音読活動が楽しいという意見が多い。しかしながら、自主的に発表したり、学習したりする態度がまだ身についておらず、学習する意義をもっと持たせていく必要がある。

3 目標

- 利き手の問題に関心を持ち、自分のことについて積極的に書いたり話したりしようとする。
- 英文を読んで自分の考えたことを書いたり、相手に伝えることができる。
- 英語を聞いたり読んだりして、内容を正しく理解することができる。
- 関係代名詞（非制限用法）、**It + seems + that** ~の用法、意味を理解し、英文の意味を理解できる。また、「左」という言葉がかつて持っていた意味を理解できる。

## 4 指導計画

時	学習目標	指導の重点			
	主な学習内容	L	S	R	W
第1時	課題を設定し、課のあらましを把握する。文法事項の把握。 課全体のあらましの把握。 P.120 と文法プリント	○	○		
第2時	○Part 1 ・ 現在世界の何パーセントが左利きかを把握させる。 ・ 過去と現在を比較しても右利きが大半を占めていたことを把握させる。 ○内容読解・要約 ○音読 (Repeating/Shadowing/Overlapping)			○	○
第3時	○Part 2 ・ 右脳, 左脳にはそれぞれどんな働きがあるかを把握させる。 ・ 右脳の働きにより, どのような職業が向いているかを把握させる。 ○内容読解・要約 ○音読 (Repeating/Shadowing/Overlapping)			○	○
第4時	○Part 3 ・ 左利きの方が右利きの人より努力しなければならない理由を把握させる。 ・ 努力の結果, 左利きの方の脳はどうなるかを把握させる。 ○Part 4 ・ 筆者の利き手を考えさせる。 ○内容読解・要約 ○音読 (Repeating/Shadowing/Overlapping)			○	○
第5時	○Part 5 ・ 「左」という言葉はかつてどのような意味で使われていたかを把握させる。 ・ 最近, 左利きの方はどのように思われているかを把握させる。 ・ 筆者が望んでいることを把握させる。 ○内容読解・要約 ○音読 (Repeating/Shadowing/Overlapping)			○	○
第6時 ※本時	○Activity ○初見読み ・ 関連した英文を読ませ, 読解力を身につけさせる。 ○動作についての表現の定着をはかる。 ○内容読解・要約 ○音読 (Repeating/Shadowing/Overlapping)			○	○
第7時	○全体の総復習 ○読み終わって思ったこと, 感じたことを書く。 ○文法 ○関係代名詞の非制限用法, It + seem + that ~を定着させる。 ○It + seems + that ~を使って対話を作る。				○

5 本時「第6時」

(1) タスク (学習課題)

○初見読み

関連した英文を読ませ、読解力を身につけさせる。

(2) 指導の重点

○初見の文章を読んで、内容を理解し、自分の印象に残った一文を選ばせ、その理由を考える。

○グループ活動に積極的に参加する。

(3) 指導目標

○自分の考えたことや思ったことを、積極的に書いたり、伝えようとしている。

○読んだことをもとに、自分の考えたことや思ったことを書き、相手に伝わるように音読する。

○英文を読んで、内容を正しく理解することができる。

(4) 本時の実際

時間	活動	生徒	教師	聞 く	話 す	読 む	書 く
1	あいさつ	あいさつする。	あいさつする。				
3	導入	絵を見て、何の絵か想像する。	絵を見て、何の絵か想像させる。	○	○		
10	動作についての表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声に従って、動作の表現を表にまとめる。</li> <li>・ペアで質問し合い、友達／自分がどちらを使って動作するかに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Activity(p.130)を使って、動作についての表現を伝える。</li> <li>・お互いに質問させる。</li> <li>・何人かに結果を尋ねる。</li> </ul>	○	○		
35	初見の文を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を求めて読み進める。答えに必要と思われる箇所以外は読み飛ばし、答えとなる部分に線を引く。</li> <li>・グループで話し合い、答えを確認する。</li> <li>・グループで話し合い、本文にタイトルをつける。</li> <li>・本文を聞く。</li> <li>・本文を音読する。</li> <li>・自分の印象に残った一文を選び、その理由を書き、グループで発表する。</li> <li>・発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本課に関連した初見の文章を読ませ、問に対する答えに線を引かせる。</li> <li>・グループで答えを確認させる。</li> <li>・本文にタイトルをつけさせる。</li> <li>・本文を音読する。</li> <li>・本文を音読させる。</li> <li>・自分の印象に残った一文を選ばせ、その理由を書かせる。</li> <li>・何人かに発表させる。</li> </ul>			○	○
1	あいさつ	あいさつする。	あいさつする。				

(5) 評価

○自分の考えたことや思ったことを、積極的に書いたり、伝えようとしたか。

○読んだことをもとに、自分の考えたことや思ったことを書き、相手に伝わるように音読ができたか。

○英文を読んで、内容を正しく理解することができたか。

下の文章を、次の情報を求めて読んでみよう。答えに必要と思われる箇所以外は読み飛ばしましょう。

(1) 最近の親はなぜ左利きの子どもに、右手を使わないでいいように言うのか。

(2) 左利き用に作られた商品を守る店はどこにあるか。またどれくらいあるか。

(3) 「国際左利き協会」の人たちが自らの義務と考えていることは何か。

① Many people have taken it for granted that there is something wrong with left-handers. Left-handed people have been treated in different and less pleasant ways.

② About a third of the world's population is left-handed; in the United States alone there are twenty-five million.

③ Many studies have been made about why people favor one particular hand. This has much to do with the system of the brain. If the right side of the brain has more influence, the left side of the body becomes easier to control.

④ Today most parents no longer make a child use his or her right hand when he or she likes better to use his or her left. If he or she makes too much effort to use his or her right hand, his or her brain may not work or develop well enough.

⑤ The right-handers of the world have begun to realize how unfair the world has been in treating its left-handed members. For a left-hander, scissors won't cut; can openers are almost useless; cars with gear shifts are difficult to drive.

⑥ Where are shops for left-handed people which supply specially designed goods for them? It is true there are shops of this kind in some big cities. But how few they are! This unfair condition is changing now. Much help is on the way for left-handers.

⑦ In the United States, a society called Left-handers International was formed in 1975. The members think it their duty to fight for left-handers and help the public understand their problems. They want everybody to know left-handers are neither "strange" nor sick nor dangerous.

⑧ So, if you are left-handed, there's no need to feel lonely or unhappy.

本文にタイトルをつけよう。

--

本文の中で、印象に残った一文を抜き出して、その理由を英語で書きなさい。


グループメンバーの発表をメモしなさい。

A


B


C
